

モテ読書

第四回 読書会で始まる恋

恋人探しや結婚相手探しに、合コンは効率
がかなり悪いということはずっと言っている
のですが、その理由は男女で合コンをする目
的が違っているからというのと、少ない人数
の中でお互い格付けしあうという異常空間な
ので正常な判断が難しくなるからです。

じゃあ、どこで出逢えば良いのかというと、
趣味の場ではないでしょうか。集まる目的が
恋愛ではないので、条件ではなく人間性で触
れ合えますし、会話も弾みますしね。

今回は読書会を開催する「猫町倶楽部」の
ことに触れたかったのです。さつき趣味の場
で出逢うのが一番と言ったのは、この猫町倶
楽部でめっちゃカップルが生まれているという
話を聞いたのがキツカケでございます。まさ
にモテと読書が絡み合う場ではありませんか。
犬山も過去、峰なゆかさんと共にこの猫町
倶楽部にゲスト出演したことがあります、
その時はいかに男性の書く小説に出てくるじ

ロインに私たちが嫌悪感を感じているかとい
うテーマで大いに語り合いました(男の欲望
を体現するヒロインというものは女から見
ると気持ち悪い事があるんですよ。男のダメな
ところを許し、不思議ちゃんで、地味で、美
人で、唐突にエッチな事してくれる女とか。
これは少女漫画に出てくるヒーローに対して
男性が抱える「そんな都合の良い王子様いね
ーよ」と同じ気持ちと思われる。

しかし! こんな参加者の恋愛気分をぶち
壊しそうなテーマであるにもかかわらず、課
題図書を読んだ参加者たちが異性同士で和気
あいあいと楽しそうにしているんですよ!



文とイラスト 犬山紙子

そりやそうだ、同じ本を読んだ読書好きがた
くさん集まって、語り合うんだもの、楽しく
ないわけがない。犬山だってできることなら
お客さんとして参加したいぐらいだ。そして、
ちよつとチャホヤとかしてもらいたい。「こ
の回ではデイスラれてるけど、私は男性作家
の描くヒロインほんと好き」とかせこい事
耳元で言つてモテたい。

読書会で話し合つてる男女を見ていると
「恋の始まりの頃」のあの感じがするのです。
話しても話してもまだ話し足りない、時間が
何時間あつても足りなくて、気がついたら
朝になつているあの感じ。そこから生まれる
恋愛って、条件で人を見るような恋愛とは違
つた、初恋みたいなピュアピュア恋愛なの
ではないでしょうか。

でも、そんな中でも難しい本を読んだ自慢
ばかりしてモテない人もいるんだろうなあ
……。好きな女性に「この本は読んだほうが
いい」とプレゼントして課題図書みたいにし
ちゃう人とか……。切ない。